



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原茂吉

第3グループ
ガバナー補佐 西澤長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2963例会 2021. 6. 2

— 親睦活動月間 —

天候曇 (NO. 57-49)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 半田君、細田(吉)君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 田辺会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想 四つのテスト
- ・ビクター・卓話 地区ガバナー 相原茂吉様

※東京オリパラ、スタッフ用制服の製造に関わり、4日「ZIP!」で紹介される予定です。 中里(昌)君
◎乾杯: 大附パスト会長

【入会式】

◎新入会員紹介 山川君
杉山 剛(すぎやまつし) 会員 S 45年生まれ、51歳。妻、長女(大学1)、長男(高2)とさいたま市緑区に在住。白鵬高校、明治大学商学部商学科を卒業。H5年、(株)武蔵野銀行入行。H30年、霞ヶ関支店長。R2年6月、飯能支店長に着任。趣味はドライブ、家庭菜園、ゴルフ。武蔵野銀行からは柳田支店長以来20年振りの入会です。



◎杉山会員挨拶
歴史ある飯能RCのお仲間に入れて頂くという事で、奉仕の理念等しっかり勉強しお役に立てればと思います。よろしくお願ひ致します。

◎新入会員紹介 中里(昌)君
大嶋研一(おしまけんいち) 会員 千葉県茂原市出身。S 49年生まれ。県立長生高校、一橋大学経済学部を卒業。H9年、(株)あさひ銀行入行。R1年、埼玉りそな銀行伊奈支店長。本年4月、飯能支店長に就任されました。



◎大嶋会員挨拶
入行後はどっぶり埼玉県民です。旧埼玉銀行の流れを継ぐお店ばかりを渡り「地元埼玉」のつもりで生きて参りました。加えて飯能のまちに貢献出来るよう頑張ってお参ります。ご指導よろしくお願ひ致します。

◎相原Gよりバッジ装着/記念撮影/歓迎の言葉/誓いの言葉/額・四つのテスト・バナー贈呈/和泉RC情報委員長より資料贈呈/森幹事より会員証贈呈・所属発表「環境保全」雑誌

【会長報告】

「仲間づくり」を目標の1つに掲げ、お蔭様で本年度14人の仲間が出来ました。飯能RCが魅力あるクラブであるとの証であり、リーダーとしての相原ガバナーの魅力に、私も会長として引き込まれた一人であったのだと思います。『友』5月号掲載の「飯能RC杯中学生卓球大会」は財団地区補助金を利用した事業で、今月中旬には「飯能RC杯スポーツ少年団少年野球大会」決勝も行われます。

■第34回会長3分間スピーチ「熱意・誠意・創意」

仕事を成就するために欠かせないものである。熱意のないところには何も生まれません。情熱こそ創造の源泉である。創業、創始の人は全てただならぬ情熱の持ち主。松下幸之助氏は言う。「何としても2階に上りたい」との熱意が梯子を生み出す。「上りたいなあ」では上れぬ。たぎるような思いで昼も夜も考え詰める事で梯子に思い至るのだ。熱意と車の両輪を成すのが誠意。情熱だけでもそれなりに上手くいくが人間としての誠実さを欠くと必ずどこかで崩れる。歪んだ結果しか手に出来ない人生になってしまう。誠は扇の要。小さな要がある事で扇はその形を保つ。どんな才覚、情熱があっても誠実という要が無ければ人生は真の結実に至る事はない。誠心誠意を尽くす時、神業のような事が出現する。そして創意。絶えず創意工夫する。昨日より今日、今日より明日、前進するために考え続ける。そこに仕事の飛躍が生まれる。創意の基になるのは教養。そこに、勉強して幅広い人間的教養を積んでいく意義と必要性があるのだ。葛飾北斎が晩年、名を「画狂老人」と改めた事はそのま熱意・誠意・創意の人生であった事を窺わせる。

ロータリアンとして心に刻みたいと思っています。

【幹事報告】

今年度最後の理事会を本日開催。N95マスクを1人7枚ずつ配付。6月RIレート1ドル109円。

【委員会報告】

◎次年度幹事 大野(康)君
例会後、第1回理事会。校正をご提出下さい。

【出席報告】MU・無届欠席0 鳥居出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
71名	5名	66名	92.69%	84.06%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・本日はどうぞよろしく申し上げます。
RI第2570地区2020-21年度ガバナー 相原茂吉様
・相原ガバナーようこそ。卓話よろしくお願ひします。
田辺会長、高橋会長エレクト、矢島(高)副会長
森幹事、本橋SAA、中里(昌)君、小川君、和泉君
・大嶋さん、杉山さん、入会おめでとうございます。
中里(昌)君
・結婚記念日お祝ひ有難うございます。 内沼君
本日計23,000円、累計額1,086,001円。
◎5日例会当番は和泉、市川会員です。

【卓話】

講師紹介 山川職業奉仕委員長
S29年生まれ、66歳。埼玉糧穀(株)代表取締役社長。関東
全般に大豆、雑穀、飼料、植物由来建築用コンクリート剥離
剤等を販売。関連会社は豊乳飼料(株)、豊産商事(株)、(株)中沢
牧場。開成中学、高校、慶應義塾大学商学部を優秀なる成績
で卒業。関東大豆卸商組合連合会会長、東日本穀物商協
同組合執行部理事、全国穀物商協同組合理事、(一)全国豆腐
連合会監事、(一)霞ヶ関カンツリー倶楽部理事、川越商工会
議所常務委員を歴任。H17年、川越RC入会。ポールハリス
ソサエティ、ベネファクター、メジャードナー(2)他。趣味
は早朝ウォーキング、ゴルフ、ピアノ。好物は錦松梅、歌舞
伎揚、アーモンド。アルコールはお飲みにならないそうです。

一年を振り返って…Rotaryに思うこと

国際ロータリー第2570地区
2020-21年度ガバナー 相原茂吉様(川越RC)

公式訪問でお世話になり、再びお目にかかる機会
を得、光栄でございます。本年度、貴クラブには本当
に多くの会員を増強して頂きました。地区で56名の
退会がある中、増強のベクトルに乗る事が出来、4月
現在40名増、1600名を回復。RIの増加率1.84%、
日本34地区0.8%のところ当地区は2.31%です。
飯能の14名の増強が後押しして下さったからにほ
かなりません。感謝申し上げます。コロナに始まり
コロナで終わる年度、田辺会長も運営には苦慮され
た事と思います。公式訪問も県南部は厳しい状況で
したが地元川越で3/19に終了。コロナに対してのよう
に接したらよいか世間もだんだん分かって参りました。
過度に恐れず注意深く対処して参りたい。

公式訪問を終えて感じた事はたくさんございます。
ノミニー指名の頃は「ガバナーなどとてもでない」と
思っておりましたが、今は拝命して本当に良かった
と思っております。引き受けたからには頑張ろうと
思ったのですが、地区研修協議会、ハワイや台北での
国際大会、委員会行事、例会と、ほとんどの行事が中止。
唯一11/3「地区大会」が出来た事は本当にラッキー
でした。1回目の宣言解除後、GoTo等の活動が許容
され始めた絶妙なタイミングで、県知事、川越市長、
国会議員の皆様方にも花を添えて頂き、RI会長代理
に田中PG(高崎RC:1年で60名を130名に増員さ
せた伝説の会長)をお迎えしての開催。1600名入る
ウエスタ川越大ホールで530人の出席。三浦雄一郎
さんの記念講演は北海道の病院とリモートで繋ぎ、
会場の豪太さんとの対談形式。「スマートな良い地区
大会だったね」と多くのお褒めの言葉を頂き、オンラ
インを駆使したハイブリッドの地区大会はその後、
他地区のお手本になったとも聞いております。

(DVD上映)地区大会は川越RCの主催であり、地域
のリーダーの皆さんが黒子になって盛り上げてくれ
ました。特に地区幹事の坂口さん(「割烹 福登美」経営)
はコロナでダメージを受ける中、本当に一生懸命に
頑張っておられました。川越RCは95名。仲の良い
同士で固まりがちで懇親を深める環境が出来づら



のが実情でした。しかし、地区
大会で力を合わせて1つの事
を成し遂げた事で一気に距離
が縮まりました。16、7年前、
家族と行った富士登山も頂上
に達するまでの苦労があって
こそその素晴らしい思い出です。
達成するプロセスに大きな意
義がある。終了後、実行委員の
打ち上げは大いに盛り上がり
ました。皆、異口同音に「ロー
タリーに入って良かった」と

言われました。地区大会を境にクラブの雰囲気がガラッと変わり、新入会員がさらに新しい仲間を引き入れてくれて、先日会員が100名を突破致しました。

当地区では一昨年の末頃、ガバナーのなり手が居らず困っておりました。人材の増強で、私よりも余程ガバナーに相応しい立派な会員がたくさんいらっしゃいます。そんな中、何故ガバナーを引き受けたのか。理由は2つございます。

私は1977年にガバナーを務めた相原茂吉の養子です。RCを本当に愛していた父への親孝行のつもりで受けました。80で亡くなる前、父に「あなたのように世の中をうまく渡るコツは何でしょう」と問うと、「それは自然の流れに身を置く事だよ。80年生きていると世の中には自分の力ではどうしようもない、目に見えないエネルギーが間違いなく存在する。そのエネルギーは“運命”“神様”などと人によって受け止め方がいろいろある。成功すると人は増長する。それが人間の弱さだ。エネルギーの存在を意識する事は結局、謙虚さに繋がる。人間の力なんてたかが知れている。自然の流れに逆らってもろくな事がないよ」とゆっくりと語ってくれたのです。私も徐々にその事が分かるようになってきました。未熟な私にガバナーの役目が回ってきたのも、一つの流れのような気がしたのです。

もう1つは、様々な恩恵を授かった川越RCへの恩返し気持からでした。川越の重鎮・今泉清詞さんのお孫さんに娘が嫁いだ事にも感謝しております。

ガバナーになる前は、エレクトとして1週間、米国サンディエゴに研修に行かなければなりません。日本の34地区から来たガバナーエレクトと夫人は初めは戦々恐々としておりましたが、研修を終えた時は連帯感に変わり、「同期のガバナーは人生の宝物です」と言う人も居りました。RIの協議会は知識を増やす事だけが目的ではありません。同様に、「地区大会」も何のためにするのか。RC章典の項目を網羅しつつ、一番の目的は、開催する事によって皆が仲良くなる事なのです。「入って学び、出でて奉仕せよ」というRIの行動指針は、2014年に「Join Leaders, Exchange Ideas, Take Action」に変わりました。地域のリーダー達が黒子となり、力を結集し大会を成功させる事で距離が縮まり友情が芽生えたのであります。

世の中はコロナで大きく変化してしまいました。こんな時に、心を許せる仲間が居る。しがらみがなく平等で、全員が地域の選ばれた人の集団である。皆さんのしあわせ感、達成感はその人でない人と比べるときっと多い事でしょう。同時に背負っている責任、悩み、犠牲、心配ごととも格段に大きいと思います。だからこそ価値観が共有出来る。学生時代の友人も大切な存在ですが、ある意味質が違います。難しい時代に突入していく中、リーダーとして同じような悩みをもちながら舵取りをしなければならない仲間が居る。人間一人では決して生きられません。奉仕の理念の下、こういった仲間づくりをする事がRCの真の目的であると私は確信するのであります。

田辺会長は「価値観を共有する仲間」を増やす事が「未来へつなげる一歩」であるとされ、「仲間づくり」のビジョンを明確に設定されました。RCの真髄であると思います。116年前、ポール・ハリスも「RCは価値観を共有する人々を見出す事、つまり誠実で多様性に富み寛容で友情に溢れ平和の大切さを分かち合える人達の集団である」と言っております。2030年に向け、RIの大改革の波が来ていますが、不変のものは「友情」と「奉仕の理念」です。飯能RCの発展と皆様の弥栄を祈念してスピーチを終わらせて頂きます。